

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		060403		二次予防高齢者通所型介護予防教室事業		担当部課	060400	2998-9120	
事業コード		060403		二次予防高齢者通所型介護予防教室事業		高年齢者支援課			
開始年度		平成19 年度		終了年度		28 年度		グループ	介護予防計画グループ
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	第6期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画							介護保険法
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	高齢者福祉	基本方針	介護予防体制の充実		
事業開始の背景	平成18年度介護保険法改正によって、要支援・要介護状態になる前から一貫した介護予防事業を推進するため、介護保険制度の枠組みの中に「地域支援事業」が創設された。また、第6期所沢市高齢者福祉計画では、自立した生活を継続するために、介護予防事業を実施し、高齢者の健康づくりの支援を進めている。ゆうゆう健康体操教室は、厚生労働省の定めた基本チェックリスト(二次予防高齢者把握事業)の結果、要支援・要介護状態になるおそれの高い高齢者(二次予防事業対象者)に対し、要介護状態とならないよう実施している事業である。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)	要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者(二次予防事業対象者)のうち、運動器の機能向上を必要とする者に、運動習慣の必要性と総合的な健康づくりについて学び、主観的健康感を向上させて、前向きに日常生活を送ることができるように支援する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	地域包括支援センターのアセスメントにより事業参加が望ましいとされた者。	対象数	単位	平成 26 年度	5,346	人		
				平成 27 年度	5,540	人			
	事業の具体的な内容及び実施方法	<p>運動器の機能向上プログラムを通所型介護予防事業として、事業者へ委託して実施する。また、センター・憩の家に公共交通機関を利用して通所することが難しい者に対して、高齢者の送迎に実績のある事業者へ委託し、送迎サービスを行う。</p> <p>実施回数：年間6コース、1コース12回(1回/週) 定員：15名/1コース 実施会場：老人福祉センター・老人憩の家 実施回数：年間9コース、1コース12回(1回/週) 定員：15名/1コース 実施会場：民間事業所</p> <p>参加者には地域包括支援センターによる事前アセスメントを実施し、個々の目標を設定し、個別サービス計画を策定する。教室開始時・終了時に体力測定を実施。教室終了時には基本チェックリスト・主観的健康感等のアンケートを実施して、二次予防事業の事業評価を行う。ストレッチや筋力トレーニング等の運動については、自宅でも継続して実施できるように家庭運動記録表を使用する。家庭運動記録表には毎回指導者からのコメントを入れ、家庭運動継続のモチベーションアップを狙う。運動以外にも、「転倒予防」「栄養改善」「口腔ケア」「認知症予防」「尿失禁予防」など介護予防の講義を行い、高齢者の健康づくりを多方面からサポートする。教室終了後は、一次予防事業の「いきいき健康体操教室」やサークル活動、地域の自主グループ等を紹介し、継続的に介護予防に取り組めるよう支援する。</p>							
経費	会計種別	特別会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			7,786	13,131	13,172			
	決算(見込み含む)			7,465	7,370				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.65 人	5,539	0.52 人	4,503				
	事業費合計			13,004	11,873				
財源内訳	一般財源	6,470	4,503	0					
	国・県支出金	2,800	2,764	4,940					
	その他()	3,734	4,606	8,232					
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	参加前の主観的健康感	「よい」「まあよい」の割合(A)	%	30	38	40		
		参加後の主観的健康感	「よい」「まあよい」の割合(B)	%	46	58	60		
		参加率	対象者における参加者数の割合	%	11	23	25		
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	主観的健康感の変化	教室参加前後での「よい」「まあよい」割合の上昇ポイント (B)-(A)	目標値	33	33	35		
				実績	16	20	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	48	61	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	通所型介護予防教室を実施する会場を老人福祉センター・老人憩の家のコースだけでなく、民間施設を活用したコースを追加した。			二次予防事業対象者は、要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者を対象としていることから、参加者全員が同じような効果を得ることは難しかったと考えられる。					
評価	評価	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由				
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由					
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
評価	老人福祉センター・老人憩の家だけでなく、民間施設のプールや健康器具等を活用した健康体操教室を実施していく。			平成29年度からの総合事業へ移行に伴い、ゆうゆう健康体操教室は通所型サービスC(短期集中予防サービス)と統合するため廃止となる。					
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	高齢者支援課 池田 隆人					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	公害(大気汚染・騒音等)の発生		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	